

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 10 月 25 日(2024.10.25)

【公開番号】特開 2023-118511(P2023-118511A)
【公開日】令和 5 年 8 月 25 日(2023.8.25)
【年通号数】公開公報(特許)2023-160
【出願番号】特願 2022-21499(P2022-21499)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/405(2006.01)

10

H 0 1 R 12/71(2011.01)

H 0 1 R 43/24(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/405

H 0 1 R 12/71

H 0 1 R 43/24

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 10 月 17 日(2024.10.17)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明のコネクタは、以下のように構成されている：端子は、少なくとも一つの第 1 端子と、少なくとも一つの第 2 端子とを含んでいる；第 1 端子の第 1 実装部は、幅方向に向いた端面として第 1 キャリアカット面を有している；第 2 端子の非実装部は、上下方向において第 1 端子の第 1 実装部よりも上方に位置している；非実装部は、幅方向に向いた端面として第 2 キャリアカット面を有している；第 1 キャリアカット面と第 2 キャリアカット面とは、幅方向において互いに同じ方位に面している。これにより、本発明のコネクタは、幅方向における同じ側でキャリアと連結された複数の端子と保持部材（ハウジング）とをインサート成型で一体成型することにより製造することができる。即ち、本発明のコネクタは、インサート成型により適した構造を有している。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

40

なお、本発明によれば、幅方向における一方側でキャリアと連結された複数の端子と、幅方向における他方側でキャリアと連結された複数の端子と、保持部材とをインサート成型で一体成型することにより、端子列が 2 列のコネクタも製造することができる。即ち、本発明を端子列が 2 列のコネクタに適用した場合、特許文献 1 のコネクタ 900 のように二次成型工程を必要とせずに一段階の成型工程でコネクタを製造できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 5 4 】

図 9 に示されるように、本実施の形態の上面 3 2 4 4 は、上下方向において上方を向いている。図 8 に示されるように、覆部 2 3 0 の上端 2 3 2 は、上下方向において非実装部 3 2 4 の上面 3 2 4 4 と同じ位置に位置している。なお、本発明はこれに限定されず、覆部 2 3 0 の上端 2 3 2 は、非実装部 3 2 4 の上面 3 2 4 4 より下方に位置していてもよい。図 7 に示されるように、上面 3 2 4 4 は、保持部材 2 0 0 の外部に露出している。これにより、本実施の形態のコネクタ 1 0 0 は、非実装部 3 2 4 の上面 3 2 4 4 が保持部材 2 0 0 に覆われている場合と比較して、第 1 実装部 3 1 2 及び非実装部 3 2 4 の近傍の部分の上下方向におけるサイズが抑制されている。

10

20

30

40

50